

氏名（本籍）	フジ 藤 原 由 葵（東京都）
学位の種類	博 士 （美 術）
学位記番号	博 美 第 158 号
学位授与年月日	平成 18 年 3 月 24 日
学位論文等題目	〈作品〉ELEPHANTREE 〈論文〉本能・本物

論文等審査委員

（主査）	東京芸術大学	教 授	（美術学部）	絹 谷 幸 二
（論文第 1 副査）	”	助教授	（ ” ）	佐 藤 道 信
（作品第 1 副査）	”	教 授	（ ” ）	佐 藤 一 郎
（副査）	”	”	（ ” ）	坂 田 哲 也
（ ” ）	”	助教授	（ ” ）	布 施 英 利
（ ” ）	明治学院大学	教 授		山 下 裕 二

（論文内容の要旨）

〔本能本物〕、これはもっとも私を評するに適した評語または標語である言葉。

本論文は、はじめにを序章に、三章に分かれ、おわりにを終章とした構成をとる。

はじめに、〔本能本物〕という私の造語の意味、〔本能〕、〔本能の同義語⊖才能（素質）・天性（天分）、⊖衝動、⊖直感・直観・勘〕、〔本物〕という言葉の辞典上での意味について、そしてこれまで学術上論じられてきた本能論・本能概念についての検索をとおして、主に精神分析学または心理学における本能概念を導入として、私の本能本物論へと展開する。

第一章；私の本能＝絵の本能では、タイトルどおり私の本能のもとからその生い立ち、そして私の本能たちが、「全身全霊、愛全てで絵を描くこと」：絵の本能としてひとつに集結する経緯を回想することで、いかにして本能が本物であるかを解明。

また、本能の同義語⊖才能（素質）・天性（天分）＋天才とは何か、よく血筋や遺伝、でもなければ突然変異などという言葉が安易に使われたり、「もともと才能のある人だ」とか「あの人は天才だ」というような解釈をすることに私は疑問を抱き、その意味を追究することにより、より深く本能の実体を探ってみた。

そして本能本物の条件を本能本物のみわけかたⅠとして、本能も努力なくしては本物ではないこと、本能本物のみわけかたⅡには、人生は自我（自分）と対象（他人）の両者を理解していく努力が必要であることとしてまとめ、定義した。

第二章；生エロスvs死タナトスでは、本能というものは人だけでなく、あらゆる生物にあるもの。精神分析学においてジグムント・フロイトの本能二元論である、生きたいという生の本能エロスと、死にたいという死の本能タナトス。その両方は常に私達の心の中に存在し、私にとっては絵の画面がその葛藤の戦場となる。その闘いを公開することによって、死の本能に負けては本物とはいえない、生の本能が勝利を遂げてこそ、私の絵の本能は本物であるといえることを説いた。

前進し、生につうじる力である性欲求（リビドー）、死につうじる攻撃性（アグレッション）でもある本能の同義語⊖衝動について、そして同義語⊖直感（直観）・勘・靈感＋神については、直感をつうじて靈感＝インスピレーションと、よく人が芸術において何かにインスピレーションを受けたという解釈をなさに「あの世に神仏あらず、この世に天才あらず、全ては努力あってこそ」をウマシカキ（私）

の格言とする上で、私が想いをよせたジャンヌ・ダルクをシャーマン・ジャンヌとして、ミケランジェロ作ピエタのマドンナを私にとって母性本能を象徴するものとして論定した。

第三章；理性本能ELEPHANTREEでは、性本能について、生本能（エロス）はすなわち性本能（セクシャル・インスティンクト）であるというフロイト説をもとに、生きるがゆえの性について、ヘテロ（異性愛）ホモ（同性愛）バイ（両性愛）エイ（無性愛）など多種多様な性に対して、私は差別的な偏見や先入観を持たずに性を表現している。しかし、性に関する基礎として、自由を求める前に抑えるべきルールを提示し、衝動や欲動でもなく、理性ある煩悩いや本能を追った。

人を、ちょっと他の生き物より脳細胞が多いだけの人という生き物。としてとらえた第二章に続いて、人と人以外のあらゆる生物達の性本能について、同異を探りながら、人の性本能は①種族保存②心と体の健全③絆の形成の三つを目的にしてあるとし、より深く人の性本能を見分けるための見極めへ。

至ってみんないっしょ、なんでもないものであったと唱えながら、おわりには性を見極め、第三章でセックスのノーマルとアブノーマルを問いたことは、アートのアマとプロ（本物）を問うための手がかりでもあったところで、性本能の本物のみわけかたへ。

生と死、そして性の本能を兼ね備えた絵の本能本物のみわけかた×本能本物のみわけかたⅢを結論として、本物の絵描きになるために私の本能「全身全霊、愛全てで絵を描くこと」を永遠不滅に恒存本能として保つためには、自分の人生を芸術作品だとして努力し続けることが必要だと結び、本論文を基礎編とし、余生に本能本物論の応用編、完結編を準備したい。